



東日本大震災
医療救護班報告

福島県
会津若松
その1

5月10日午前6時、琵琶湖中央病院東日本大震災医療救護班（以下、医療チーム）は、福島県会津若松市に向け出発しました。当院医療チームは坂口院長、看護師2名、理学療法士1名、事務員2名で編成。6名を乗せた「災害派遣等従事車両」証明書は、名神高速道路、北陸自動車道、磐越自動車道を乗り継ぎ、目的地の福島県会津若松市にある会津保健福祉事務所（会津保健所）を目指しました。

同日午後5時、会津保健所職員、前任の滋賀県立小児保健医療センター医療救護班と合流。申し送りを受け、翌日からの避難所巡回診療の準備を行いました。

5月11日、午前8時。会津保健所でのミーティング。ぞくぞくと全国各地からの医療救護班が集合。たちまち会議場は50人を超える人で埋め尽くされ、前日の総括、当日の活動内容確認が行われ、各チームは担当避難所に向け出発。当院医療チームには横浜市立大病院からの医師、愛知県薬剤師会チームが同行。第一日目の巡回診療は会津若松市芦ノ牧温泉及び北塩原村にある4ヶ所の避難所を回ることとなりました。移動時間は約1時間。避難所はいずれも温泉街のホテル、旅館。到着すると診察室づくりから始めます。最初のホテルの診察室は通常はラウンジ。テーブルと椅子を移動させ、受付する所、問診・血圧測定をする所、診察をする所、薬を調剤する所、長椅子をリハビリ台

にと、即席の診察室が出来上がりました。ホテルの方にお越し診療開始の館内放送。このようにして、3日間の巡回診療が始まりました。

第1日目は4ヶ所を回り、初診18名、再診17名、合計35名の方の診察を行いました。症状的には高血圧の方が多く、避難生活でのストレス症状が窺えました。慣れない巡回診療の初日ということもあり、時間調整が思うようにできず、会津保健所に帰ったのが午後6時半。活動まとめ、報告、翌日準備を行い、午後8時前に宿舎に帰り着き、1日の活動が終わりました。



（芦ノ牧温泉 丸峰観光ホテル・ホテル観山での巡回診療）

第2日目は猪苗代町中ノ沢温泉にある7軒の旅館へ2班に分かれての巡回診療となりました。ここは福島原子力発電所の事故による避難を余儀なくされている浪江町の方が集団で避難された所で、医療救護班が初めて入る避難所でした。それぞれの旅館での自治組織を確立され、準備から円滑な診療へご協力をいただきました。かけ足の巡回診療となりましたが、1日で81名の方への診察を行いました。

.....次号へ続く.....



（会津保健所での朝のミーティング）



（猪苗代町中ノ沢温泉「いろり湯の宿大阪屋」での巡回診療）